2026年11月12日

各　位

会　社　名　ビープラッツ株式会社
代表者名　代表取締役社長　　藤　田　健　治
（コード番号：4381 東証グロース）
問合せ先　取締役副社長　　伊　藤　淳　一
（ TEL. 03-6262-9427）

上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2026年５月14日公表の「2026年３月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおり、2026年３月末時点において債務超過となり、2026年６月22日付で「上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画（改善期間入り）について」を開示しております。

つきましては、2027年３月期第２四半期（中間期）における上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）決算の状況について

当中間連結会計期間の当社グループの売上高については、315,653千円（前年同期比6.2%減）となりました。損益面については、営業利益は62,312千円（前年同期は66,708千円の営業損失)、経常利益は46,126千円（同76,165千円の経常損失）を計上した一方で、特別損失としてソフトウエア仮勘定（無形固定資産）に係る減損損失87,448千円を計上したことを主因として、親会社株主に帰属する中間純損失41,667千円(同　86,537千円)となりました。

また、当中間連結会計期間末の純資産合計は、グロースパートナーズが管理・運営を行うファンドであるGP上場企業出資投資事業有限責任組合に対して第三者割当の方法により発行した第６回及び第７回新株予約権の行使が進捗したことにより、76,774千円の資産超過（前連結会計年度末は447,251千円の債務超過）となりました。2027年３月期末まで引き続き資産超過の状態を維持できるよう、後述する基本方針に基づいた取り組みを着実に実行してまいります。

なお、2026年11月12日付け公表の「営業外費用及び特別損失（減損損失）の計上、通期連結業績予想の修正並びに個別業績予想に関するお知らせ」のとおり、2027年３月期の通期連結業績予想は、売上高581百万円（前年同期比20.1%減)、営業利益82百万円（前年同期は営業損失126百万円)、経常利益52百万円（同 経常損失142百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失35百万円（同 親会社株主に帰属する当期純損失925百万円）に修正しております。

２．債務超過解消に向けた基本方針について

当社は、2026年６月22日公表の「上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画（改善期間入り）について」における「４．上場維持基準への適合に向けた取り組み」に記載のとおり、当社主力製品「Bplats® Platform Edition」のサービス展開において、「生成AIサービス事業者」向けのAIマネタイズ支援「AI×Monetization」という新たな取り組みの一層強化による売り上げ拡大、コスト面では、通信インフラコストをはじめとするコスト削減の継続に加え、AI活用による品質向上・開発効率の向上及び全社的な業務効率化の徹底により、更なるコスト管理を実現することで、収益構造の改革を進めます。また、事業提携契約先であるグロースパートナーズ株

式会社（以下「グロースパートナーズ」といいます）が管理・運営を行うファンドであるGP上場企業出資投資事業有限責任組合に対して第三者割当の方法により第７回新株予約権を発行するなどグロースパートナーズを中心に、当社グループの資本の増強に対し協議し財務基盤の強化を図ります。

３．債務超過解消に向けた取り組みの進捗状況について

（１） 収益構造の改革

当社主力製品「Bplats® Platform Edition」のサービス展開において、急速に市場参入が相次ぐ「生成AIサービス事業者」向けのAIマネタイズ支援「AI×Monetization」という新たな取り組みを既に始めておりますが、2026年７月に、AIエージェントの本格導入を支援する技術特化型企業による「AI導入支援コンソーシアム」を発足し、同コンソーシアム会員企業のサービスや商品をワンストップで紹介するマーケットプレイスを公開しております。当初正会員企業８社で発足した同コンソーシアムは、直近では合計15社まで拡大しており、今後も引き続き組織の拡大及びマーケットプレイスの活性化を目指してまいります。また、同コンソーシアム会員企業でもあるクウジット株式会社とは、AI設計支援基盤の構築業務支援に関する事業提携契約を締結し、サービス提供を開始しております。コスト面では通信インフラコストの継続的な削減に取り組むとともにグロースパートナーズの支援も得ながら業務の効率化や業務コスト全般に関する削減策の立案とその具体的な遂行を進めております。その一環として、2026年12月末付けにて「ビープラッツ・サブスクリプションセンター」（北九州オフィス）を閉鎖することを決定しております。これらの収益構造の改革の取り組みにより、前述の2027年３月期の通期連結業績予想数値の達成を目指してまいります。

（２） 財務基盤の安定化

当社は、上場維持基準への適合に向けた資本の増強を目的として、2026年５月29日付「第三者割当による第７回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行に関するお知らせ」のとおり、2026年５月29日開催の取締役会において、グロースパートナーズが管理・運営を行うファンドであるGP上場企業出資投資事業有限責任組合に対して第三者割当の方法により第７回新株予約権を発行することについて決議し、2026年６月15日に払い込みが完了しております。当中間連結会計期間末までに、昨年発行した第６回新株予約権と前述の第７回新株予約権の権利行使により、合計560,928千円の資本調達が進みました。

第７回新株予約権の発行日2026年６月15日以降本日2026年11月12日までの第６回及び第７回新株予約権の権利行使の状況は以下のとおりとなります。

	ビープラッツ株式会社 第６回新株予約権	ビープラッツ株式会社 第７回新株予約権	合計
2026年６月15日～2026年６月30日	―	17,239,100円	17,239,100円
2026年７月１日～2026年７月31日	56,160,000円	64,041,100円	120,201,100円
2026年８月１日～2026年８月31日	―	357,063,700円	357,063,700円
2026年９月１日～2026年９月30日	―	66,424,100円	66,424,100円
2026年10月１日～2026年10月31日	―	60,980,000円	60,980,000円
2026年11月１日～2026年11月12日	―	21,410,000円	21,410,000円
合計	56,160,000円	587,158,000円	643,318,000円

（※）当中間連結会計期間末純資産76,774千円に2026年10月１日から2026年11月12日までの間の新株予約権の権利行使による資本の増加額合計82,390千円を単純に合算した場合の純資産残高は159,164千円となります。

４．上場維持基準（純資産基準）適合に向けた改善期間

2026年４月１日から2027年３月31日

以　上